



工学分野での ジェンダード・イノベーション 研究と広がり

◆ プログラム ◆

- ・開会のあいさつ 寺嶋一彦 豊橋技術科学大学 学長
- ・「ダイバーシティ推進センターの取り組み」 講演10分 中野裕美 (豊橋技術科学大学 副学長)

- ・「ジェンダード・イノベーション～性差分析による科学技術の発展にむけて～」
佐々木成江氏 (お茶の水女子大学 特任教授) 基調講演30分+質疑10分

これまでの科学・技術分野における研究や開発では、男性を対象や基準とすることが多く、女性の方に不利益が生じがちでした。しかし、それをネガティブにとらえるのではなく、性差分析を研究や開発のプロセスに積極的に組み込むことで、科学・技術分野にイノベーションと発見を生みだそうというコペルニクスの発想がジェンダード・イノベーションです。本講演では、国内外の動向や事例を紹介し、ジェンダード・イノベーションが拓く未来について考えていきたいと思います。



- ・「フェムテック最新動向～ビジネス先進事例と拡大に向けた課題と展望～」
皆川朋子氏 (一般社団法人 Femtech Community Japan / Founder & 代表理事)
招待講演20分+質疑10分

フェムテックとは、女性特有の健康に紐づく課題を解決するためのテクノロジー分野であり、新しいビジネスが出現する注目領域となっています。例えば、女性の月経、妊娠・出産、更年期向けのモニタリングアプリ・デバイスやコミュニティ・医療専門家とオンラインで繋ぐプラットフォームなどが挙げられます。一方で、文化的にタブー視されるなど産業拡大に向けた課題を踏まえたフェムテックの最新動向について、ビジネス事例を踏まえて解説します。



- ・「免疫の性差研究から発達障がいへの顕在化と教育への展開」
吉田祥子 (豊橋技術科学大学 教授) 講演20分+質疑10分

ジェンダーと精神発達の関わりは従来から研究され、「発達障がいは男の子に発症する」など、漠然と「女性はメンタルが強い」とされることも多くありました。しかし近年は、女性の発達障がいは顕在化しにくいだけであること、ジェンダーにより免疫活性化のタイムコースが変容し、いろいろな疾患に影響を及ぼすことが知られるようになりました。動物を用いた生物学的な知見を学生のメンタルケアに還元するジェンダード・イノベーションについて紹介します。



2023年9月26日(火)



開催時間

14:00～16:00

開催形式

会場 豊橋技術科学大学 A-114講義室 + オンライン

申し込みフォーム

<https://forms.gle/hgHqsUkKkVFZXZso7>

※申し込み後にZoomコードをご案内します。
※申し込み〆切り 9月22日(金)

名刺・意見交換会

13:15～13:50

開催場所

会場 A-105講義室

《主催》
豊橋技術科学大学
ダイバーシティ推進センター

《問い合わせ》
豊橋技術科学大学
ダイバーシティ推進センター事務担当
TEL 0532-44-6502
Eメール syokuin@office.tut.ac.jp